

FORTRATM

導入事例 CASE STUDY (TRIPWIRE)

AstroとTripwire

毎日の放送に生かすベストプラクティス

Astro は東南アジアの大手 DTH (Direct-to-Home) 衛星テレビ局です。マレーシアでは、Astro が全テレビ所有世帯の50%のシェアを握っています。視聴者はより多様なエンターテインメントサービスの提供を望み、テレビ局はさまざまなデジタル革新技術が利用可能になる中、ネットワーク各局には時代に遅れることなく新技術を導入していくことが求められています。

この変化の速いダイナミックな環境において、Astro の IT 管理およびエンジニアリングチームは、セキュリティの確保とコンプライアンスの合理化を目指したベストプラクティスと自動化に注目しつつ、新しいソフトウェアを評価・導入するための戦略的手法を開発する必要性を感じていました。

大規模な IT 環境における変更管理とコンプライアンスを自動化

Astro の放送事業には、大規模な IT 環境が必要とされます。同社はクラウドサービスへ移行していないため、処理機能は社内ですべて管理されています。IT および IT オペレーション&サポートの2つの部門は200名を超えるエンジニアおよびシステム管理者を擁し、500台以上のサーバやネットワークデバイスを管理しています。

Astro 社の IT セキュリティおよびアシュアランス部門シニア・アシスタント・バイスプレジデントである Chaiw Kok Kee 氏は次のようにコメントしています。「この大規模かつ拡大中の環境でサービスレベルを維持するためには、変更管理プロセスが大変重要です。当社の新しいベストプラクティスのフレームワークを実現するためには、日々の手動によるチェックリスト体制を自動化することが重要でした。」

Astro 社は他社製のファイル監視システムとコンプライアンスチェックソリューションを使用してきました。しかし、それらのソリューションでは、同社のベストプラクティスの目標を達成し、成長を実現するために必要となる、リアルタイムかつ継続的なコンプライアンスモニタリングや自動化、あるいはレポート作成などの高度な機能が提供されませんでした。また、PCI データセキュリティ基準 (PCI DSS) をはじめとする、外部、内部のコンプライアンス基準の管理を行うためのソリューションも必要でした。

Astro の IT マネージャとエンジニアは、ベストプラクティスを踏まえて複数のソフトウェアをレビューし、信頼性、正確性、レポート機能、および効率性を同社のベンチマークと照らし合わせてツールの評価を行いました。同社は、変更データの再チェックの必要性を排除し、コンプライアンスを順守しながら監査プロセスを合理化すること、また、適切な変更およびコンフィギュレーションを判別するファイル整合性モニタリングシステムを配備することを求めています。

そして、Tripwire Enterprise に解決策を見出し、段階的な導入を開始しました。

AT-A-GLANCE

会社名: Astro

業種: テレビ放送局

ビジネス上の課題

- ビジネスの急成長と新技術の採用に対応するために、新規に確立したベースラインやベストプラクティスに基づくソリューションを選択
- チェックリストを使った手動の確認作業を削減または排除し、正確性、効率性を向上させ、レポートも活用し、運用作業を向上
- PCI DSS 監査のプロセスを自動化し、コンプライアンスの問題やレポートの管理をしやすくする

解決策

2010年4月、Astro は50台の重要なサーバおよびPCI対象のサーバ上にTripwire® Enterpriseを導入し、既存のファイル整合性モニタリングシステムおよびコンプライアンスチェック用ソリューションと置き換え実施。

2010年7月には、100台のサーバおよびネットワークデバイス上に追加でTripwire Enterpriseを導入。Tripwire Enterpriseを大幅に拡大する予定。

結果

- それまで手動であった製作プロセスおよびコンプライアンスチェックプロセスが自動化され、効率性と正確性が劇的に向上
- タスクに要するマンパワーが5、6時間から1時間に短縮され、リソースを節約

ベストプラクティス環境への移行

2010年4月、Astro社はローカル認定パートナーの支援を受けて、PCIコンプライアンスの対象となるマシンを含む50台の重要なサーバにTripwire Enterpriseを導入しました。この初回の導入の目的は、古いファイル・モニタリングシステムとコンプライアンス・チェック・ソリューションからの移行でした。それらの旧式のソリューションでは、不正確なレポート機能とスキャンベースのアプローチによるコンプライアンスチェックが採用されており、Astroが要求する継続的なコンプライアンスを満たすものではありませんでした。また、コンプライアンス用レポートの正確性検証のためのリソースが必要でした。

4か月後、Astroは100台の重要なサーバとネットワークにTripwire Enterpriseを追加導入しました。同社のエンジニアの期待どおり、Tripwire Enterpriseは、その安定性と安全性を実証し、同社のビジネスとITの課題に十分対応できる機能を提供しました。

運用効率の向上もTripwire Enterpriseを採用する主な目的でした。本番環境へのアプリケーションの展開前、環境内の変更を手動でチェックする代わりに、ファイル整合性モニタリング機能に加え、すべての変更を完全に可視化するというTripwireソリューションの機能を活用することにより、ITチームに、サーバが侵害されればその証拠を提供することができます。Tripwire製品では、本番環境に対して適切なシステム変更であるかどうか、すぐに確認できます。

このような効率化からは定量的な結果を得ることができます。これまでエンジニアは、手動によるリストチェック処理に5〜6時間かけていました。それが、今では1時間にまで短縮されています。

Kok Kee氏は、彼のチームはTripwire Enterpriseによってすべてにおいて効率の向上を図ることができたこと、また、新しいソリューション導入の効果を得るには、あらかじめ戦略を講じておくことが重要であると語っています。Tripwire Enterpriseを採用した同社の次の計画は、コン

「当社の新しいベストプラクティスフレームワークを実現するためには・・・自動化することが重要でした。私たちはAstroを『監査される組織』から『信頼される組織』へと変貌させました。」

—CHAIW KOK KEE 氏
ASTRO 社

IT セキュリティおよびアシュアランス部門
シニア・アシスタント・バイスプレジデント

定量化可能な結果で期待に応える

これまでのように、監査官が同社のチェックリストとコンプライアンスの実施状況を確認する代わりに、現在ではTripwire Enterpriseが自動的に生成するレポートをITエンジニアが監査官に提示する形でコンプライアンス監査が実施されるようになりました。

Kok Kee氏は次のように感想を述べています。「手動のチェックリストの自動化と、必要に応じたレポート生成を可能にするTripwireのソフトウェアはすぐに利益をもたらしました。それにより、当社はPCIコンプライアンスプロセスを合理化し、監査の基準を満たすことができるようになりました。結果として「監査される組織」から「信頼される組織」へと成長を遂げました。」

プライアンスプロセスに対して行ったように、変更管理プロセスも合理化することです。将来的には、Astro社は、効率的かつ効果的なITのベストプラクティス環境内で新技術を統合することで、顧客の要求にもっと簡単かつ確実に応えることができるようになるでしょう。

FORTRA
Fortra.com

Fortraについて

Fortraは、他に類を見ないサイバーセキュリティ企業です。私たちはお客様のために、よりシンプルで強力な未来を創造します。当社の信頼できるエキスパートと統合されたスケーラブルソリューションは、世界中の組織にバランスとコントロールをもたらします。私たちはポジティブ・チェンジメーカーであり、サイバーセキュリティの旅程のあらゆる段階において、お客様の味方となります。詳細については、fortra.comをご覧ください。

astro
astro.com.my

Astroについて

Astro Malaysia Holdings Berhad (Astro)は、マレーシアのコンテンツ・エンターテインメントの大手企業です。マレーシアの全テレビ所有世帯の72%のシェア(560万世帯)、8,000企業、週間視聴者数1,750万人のラジオ局(FMとデジタル)、月間1,400万人のデジタルユニークビジター(UV)、購読者数320万人のプラットフォーム(テレビ、ラジオ、デジタル、コマース)を提供しています。詳細については、astro.com.myをご覧ください。